

語り手 宮倉瑞子  
(昭和6年生まれ)  
平成12年12月収録

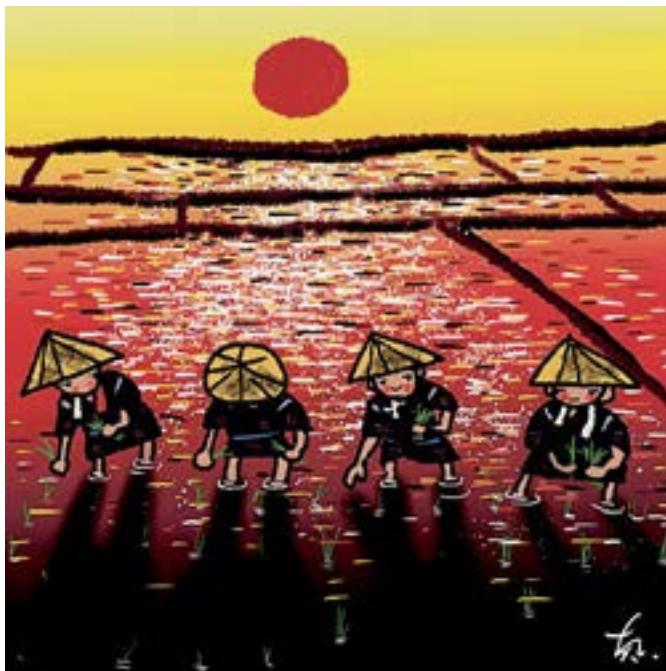
か進みません。  
「今日のうちに植えら  
へいかねえ」

れるかなあ】 見えなかつた太陽が、ずなあ」と出てみると、昨日お日さまは西の空に傾ん、ずんと上方に上り、日植えた田んぼに苗の緑

昔、鳥取に湖山長者といふ金持ちがいました。長者の家の田植えです。いつも世話になつてゐる人たちが、集まつてきました。田植えが始ま

# 湖山長者

(西伯郡南部町境)



イラスト・福本隆男

「こんなはずはない」  
長者はあわてましたけれども、昨日ゆっくり沈んでくれた太陽さんは、もう東の方に昇っていまして。た。  
「わたしが悪かった。もう沈もうとしている太陽さんを、無理に呼び返したから罰が当たったんだ。ああ、やっぱり無理なことをしてはいけないということだ。村のみな

「こんなはずはない」  
長者はあわてましたけれども、昨日ゆっくり沈んでくれた太陽さんは、もう東の方に昇っていまして。た。  
「わたしが悪かった。もう沈もうとしている太陽さんを、無理に呼び返したから罰が当たったんだ。ああ、やっぱり無理なことをしてはいけないということだ。村のみな

名である。この話はお父上からお聞きになつたと、語り手の宮倉さんは話しておられた。宮倉さんは長年教育職に従事されていた方でもあり、現在、ほつてき民話の会のメンバーでもあつて、実際に見事な語りである。どなたもじっくり味わつていただきたい。

みんな歌をうたいながら田植えをしておりましたが、長者の田んぼはた

あれやこれやで  
この田もすんだ  
むしのどなたも  
「苦勞さん  
ヤレ 「苦勞さん  
むしのどなたも  
「苦勞さん

やん、すみなかつたねえ」と長者はあやまつたそつです。

が見えません。  
「さんすまなかつたねえ」と長者はあやまつたそつです。  
「ほんとない」「むりしたんだろう」「昨日植えた稻が一本もないぞ」「長者さん、長者さん、起きてください。昨日植えた稻がありません」「湖山池」と二つのがでえたところの話です。

解説

## 期大学教授 唯日に掲載

## 期大学教授 曜日に掲載